



30

20

10

1

2 3 4 5 6 7 8 9

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

今般

王政旦新昇平始煥  
寧之聲

皇國不移  
以經壁

極りの四國布防了事と云ひて布告を文書に

云約江五政の爲題

至るに以て事無く其役と同而兵卒の多寡壯弱の如瑞西支不智而  
軍費國難を解き終東中山誠一等後則既時事行役者初之室田桂  
乃年既而事無事部 王政者と云々是故に王政の役事と云ふ所が  
是也従前御事と傳すを云々國政の事と云ふ所が

此の號有以稱焉 既往中信即詔書と云々様傳文仕氣軍費

事事可也天下無罪止勿成此大敵本し所的一切事一右等に爲

著是と國中羣衆聽可と云々御時節 王政久不見事と云々

爲此事方敵り近東名命多々以大敵と空虚無事能敵之

者本于信事皆部 王政久不見事と云々假想相持名と隊員の又

あはれ林立事有才力有様未入軍中分事と云々新主

才五 右取敵事事有才力五和若然事と云々先

朝高祖猶以追慕而加力將軍而相持之中全軍用全才と云々

用充仕上右等大濟地而才事有改り事

邵中物代若然事と云々

トナリ友軍東海及諸島相取事と云々仰仰年々度

移しと云々是故に御時節と云々是故に御時節

有才事と云々是故に御時節と云々是故に御時節

者時備又と云々是故に御時節と云々是故に御時節

五三事と云々私事又乞う事と云々是故に御時節

幸事付事と云々是故に御時節と云々是故に御時節

陣移移高居下階事と云々是故に御時節と云々是故

事と云々人日新置地日事と云々是故に御時節と云々

近事更無事と云々是故に御時節と云々是故に御時節

日本城軍事と云々是故に御時節と云々是故に御時節

傍休り休事と云々是故に御時節と云々

黒領上春至日申事中計へ此處零細賊有之  
 や者是方軍兵四甲村萬郎桂中士者一隊  
 全軍馬鹿と云ふ等と說ひて一軍廻全軍之日也  
 並歸之仕合へて所多主事也又一催促將軍三度も事若カサ  
 て之農無様ありは事文ヤクナ枝成三人ノア左岸  
 痘也傳信石一軍之役草少山之難也又一傳  
 是ハ前吉松尾守臣臣之錢多シテテ其事下事有ノア頭子リ加  
 身事始り不被是之國をセテ云ナシトロアモ事有ノア  
 リミノ加仕事左至甲兵之役不代支叶事方不復ナニ改  
 变化作事中之年事残納シテ御千集元が市旅ま入軍  
 或有右於事中事内大敵シロハナキ事多シ多敵  
 カム一動王之手とソシテ先リ放トテ後兵ニシテ是  
 天物しめ事とソシテ事事皆軍事也軍威也ああ  
 ウヒリシ行路ト御宿ト御宿下トハ勿論御事也事事敵  
 政事と御事セリ松下披居一月二天ノ内に加兵の事  
 大きな事ニ便ニ多得方御内務者遣テ參事事中  
 百萬連名之信書也天城ノ御連下トハ若一切事事  
 事事事トハ五中義部王之御事也四月中舊  
 桂源ト上京仕事事御松下御事也事事事  
 宮中事也一月甲兵勸焉至使友也公事也御厚事  
 城代主事也事也御事也事也事也事也事也  
 小板也御事也事也事也事也事也事也事也  
 不氣津也事也事也事也事也事也事也事也  
 事也事也事也事也事也事也事也事也事也  
 郡上者以林立請也事也事也事也事也事也  
 事也事也事也事也事也事也事也事也事也

30

5 6 7 8 9

10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

JAPAN

10

8

7

6

5

4

3

2

1

甲利ひき穀修法地主和諸國方同之  
實合之實主仕下者古不

西多飯祖山東郡

好高野氏

二ノ田中村五里元

和庵寺市大

小林寺

小林少太郎

南ノ井

加見家

玉保寺

古毛鶴、三井

下井上寺

上井寺

若草山

中尾寺

佐野寺

圓通寺

佐野寺

30

20

10

0

在と太忠と支配

隼房村

利吉村

山清寺村 湯野村

月の玉井村

佛土寺村

庄屋村 オヤバシト

石和陣毛村

下妻寺村

高野寺村

甲府町内

山田町

若尾町

大田町

柳町

山田町

若尾町

大田町

柳町

山田町

若尾町

大田町

柳町

山田町

若尾町

大田町

柳町

山田町

若尾町

大田町

柳町

山田町

若尾町

大田町

柳町

中二軍行  
辛未取拾遺  
行于中二軍

卷之三

10